

平成24年度関東倶楽部対抗新潟第2ブロック予選競技 組合わせおよびスタート時間表

(参加者 17倶楽部 ・ 136名)

期日：5月25日(金)

場所：米山水源カントリークラブ

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番(アウトコース)よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	8:00	坂井 栄助	大新潟・三条	柳村 富雄	阿賀高原	服部 秋男	ノーブルウッド	諸橋 良幸	笹神五頭
2	8:09	吉村 寛	胎内高原	佐藤 武	米山水源	押見 正司	下田城	渡辺 吉之輔	紫雲
3	8:18	山本 四郎	妙高	三母 英二	日本海	寺井 上	アイビス	石栗 一久	新発田城
4	8:27	鴨居 進	松ヶ峯	藤川 圭次郎	中条	吉原 博	長岡	小林 誠二	石地シーサイド
5	8:36	田村 敏明	小千谷	金田 東懼	大新潟・三条	穴戸 英明	ノーブルウッド	荒井 高	胎内高原
6	8:45	高橋 憲介	下田城	関 一雄	妙高	高橋 健治	アイビス	井部 充夫	松ヶ峯
7	8:54	石岡 一美	長岡	目黒 雅敏	小千谷	刈屋 静男	阿賀高原	塩田 義行	笹神五頭
8	9:03	阿部 勉	米山水源	斎藤 裕行	紫雲	新村 照平	日本海	石井 清栄	新発田城
9	9:12	上杉 昌祺	石地シーサイド	源川 勝彦	中条	星野 英隆	大新潟・三条	吉川 孝司	笹神五頭
10	9:21	倉重 正晴	下田城	生居 慎司	日本海	滝沢 孝行	松ヶ峯	眞嶋 吉一	石地シーサイド
11	9:30	鈴木 嘉道	阿賀高原	野々村 正博	胎内高原	浅妻 康宏	紫雲	清野 喜美男	アイビス
12	9:39	木野目 友見	中条	片岡 春男	小千谷	小田 忠志	ノーブルウッド	古澤 一義	米山水源
13	9:48	上田 参朗	新発田城	中川 義昭	妙高	野本 恭一郎	長岡	小西 三男	大新潟・三条
14	9:57	神田 信治	胎内高原	新田 鐘大	妙高	中曾根 芳雄	松ヶ峯	佐藤 正明	小千谷
15	10:06	田村 隆一	阿賀高原	水野 英之	米山水源	東城 雅夫	日本海	高橋 行男	中条
16	10:15	小林 透	ノーブルウッド	山井 馨	下田城	根本 芳朗	アイビス	深井 修次	長岡
17	10:24	中村 実	笹神五頭	石田 重晴	紫雲	吉岡 昭夫	新発田城	瀧口 栄三	石地シーサイド

10番(インコース)よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
18	8:00	内藤 修	大新潟・三条	青木 浩一	米山水源	大塚 和幸	アイビス	北村 和秋	石地シーサイド
19	8:09	中山 英明	阿賀高原	吉田 聡	下田城	笠井 明	新発田城	佐藤 秀明	小千谷
20	8:18	石本 哲也	ノーブルウッド	志村 英樹	紫雲	宮沢 重夫	松ヶ峯	山本 寿人	笹神五頭
21	8:27	藤田 高彦	妙高	本永 峰雄	中条	渡邊 邦男	胎内高原	永田 礼義	日本海
22	8:36	畑 忠友	長岡	若林 克正	大新潟・三条	山田 克明	下田城	甲崎 仁	松ヶ峯
23	8:45	羽賀 伸久	笹神五頭	白川 喜幸	妙高	野澤 順司	中条	佐藤 慎一	ノーブルウッド
24	8:54	渡辺 一弘	紫雲	五十嵐 健太	長岡	石山 正義	阿賀高原	渡辺 泰一郎	日本海
25	9:03	佐藤 利洋	石地シーサイド	石山 忠一	胎内高原	三輪 政伸	アイビス	野上 文範	小千谷
26	9:12	横田 秀国	米山水源	下妻 登司衛	新発田城	神保 雅人	大新潟・三条	品田 茂一	紫雲
27	9:21	白濱 秀樹	長岡	岩橋 勉	阿賀高原	高村 伸吾	妙高	堀田 早人	石地シーサイド
28	9:30	目黒 学	日本海	野田 富勝	ノーブルウッド	吉田 松明	小千谷	菫澤 敏	笹神五頭
29	9:39	玉木 智	アイビス	坂上 一弥	胎内高原	高橋 直樹	新発田城	宮澤 雅則	米山水源
30	9:48	佐々木 悟	松ヶ峯	古城 勝彦	下田城	横山 智行	中条	塚田 一博	大新潟・三条
31	9:57	小島 達也	日本海	斉木 稔	小千谷	曾根 明	阿賀高原	竹田 裕司	妙高
32	10:06	田村 弘一	ノーブルウッド	小笹 浩樹	アイビス	畑山 順俊	笹神五頭	五十嵐 哲	新発田城
33	10:15	藤井 正広	胎内高原	高橋 征晃	松ヶ峯	清水 邦彦	米山水源	津野 樹志	中条
34	10:24	宇佐美 博昭	下田城	星野 節二	長岡	渡辺 政由	紫雲	佐藤 信行	石地シーサイド

競技委員長 豊泉 幸夫

成 24 年度 関東倶楽部対抗新潟第 2 ブロック予選競技

開 催 日 :平成 24 年 5 月 25 日(金)

開催コース:米山水源カントリークラブ

本競技においては日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこの競技の条件・ローカルルールを適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定や選手への通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、本競技の条件とローカルルールの違反の罰は、2 打とする。

競 技 の 条 件

1. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

2. 使用球の規格(ゴルフ規則 175 ページ参照)

『公認球リストの条件・規則付 I (c)1b』

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・規則付 I (c)1a』(ゴルフ規則 174 ページ参照)

4. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、競技者が金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

5. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

6. ホールとホールの間での練習禁止(規則 7-2 注 2)

『規則付 I(c)5b』(ゴルフ規則 179 ページ参照)

7. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b、c、d に従って処置すること。

(2) 陰悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間にいるときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。この条件の違反の罰は競技失格(規則 6-8b 注)

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断 : 短いサイレンを繰り返して通報する。

陰悪な気象状況による即時中断 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、競技者が委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『規則付 I(c)2』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)

アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。

2. 修理地(規則 25-1)

修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。ただし、次のものを含むスルーザグリーン芝草を短く刈ってある区域(規則 25-2 参照)にある距離計測のための黄色いペイント。ただし、そのペイントがプレーヤーのスタンスの障害となっても、それ自体は規則 25-1 に基づく障害とはみなされない。球がそのペイントの上にあるか、触れている場合、またはそのペイントが意図するスイング区域の障害となる場合のみ、規則 25-1 に基づいて救済を受けることができる。

3. ウォーターハザード・ラテラルウォーターハザード(規則 26-1)

ウォーターハザードは黄杭または黄線、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。

4. 動かさない障害物(規則 24-2)

- a. 排水溝
- b. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
- c. 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)

5. コースと不可分の部分

樹木に巻きつけたり、密着させてあるもの

6. 11 番、12 番ホールグリーン左側のバンカー内の石垣はプレー禁止の修理地とする。球が石垣に近接しているために、意図するスタンスやスイングの区域の妨げになる場合、競技者は、罰なしにバンカー内のホールに近づかないところにドロップしなければならない。

7. 15 番ホールと 5 番 6 番ホールおよび 16 番ホールと 4 番ホールの間の白杭を結ぶ線を越えて、現にプレーしているホール以外のコース上に止まった球は、アウトオブバウンズの球とする。

注 意 事 項

1. 競技の条件 4 項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。
3. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 8 カゴを限度とする。

競技委員長 豊泉 幸夫